

-기로서니

～だからといって（それでも）

相手の理由をいったん認めつつ行き過ぎを咎める形です。日本語の「からといって」に当たります。

■ つけ方

状況	形	例
すべての語幹	-기로서니	바쁘다 → 바쁘기로서니
パッチム	関係なし	좋기로서니
名詞	(이)기로서니	학생이기로서니
縮約	-기로	바쁘기로
後ろ	反語・叱責	그럴 수 있나?
よく組む語	아무리	いくら～でも

■ 使い方と注意

理由を認めつつ咎めます。아무리 바쁘기로서니 연락도 없어요?（いくら忙しいからといって連絡もないんですか）。

後ろに反語や叱責が来ます。「その理由はわかるが、それでもこれはないだろう」という流れ。日本語の「からといって」と同じ働きです。

아무리 とよく組みます。아무리 -기로서니 の形で「いくら～だからといって」になり、意味がはっきりします。

文語寄りですが会話でも使えます。ただし咎める調子なので、目上の人には向きません。

■ 例文

- 1 아무리 바쁘기로서니 연락 한 번 못 하나?
いくら忙しいからといって、連絡一つできないのですか。
- 2 아무리 화가 났기로서니 그런 말을 해서는 안 되지.
いくら腹が立ったからといって、そんなことを言ってはいけません。
- 3 아이가 잘못했기로서니 그렇게 심하게 혼낼 일인가.
子どもが悪かったからといって、あんなにひどく叱ることでしょうか。
- 4 급하기로서니 인사도 없이 가 버리다니.
急いでいるからといって、挨拶もなく行ってしまおうとは。
- 5 직접 만들기로서니 이렇게 오래 걸릴 줄이야.
自分で作るからといって、こんなに長くかかるとは。
- 6 아무리 어렵기로서니 포기할 수는 없다.
いくら難しいからといって、諦めることはできません。

■ 紛らわしいもの

-다고 해서
「からといって」で一般的です。기로서니 は咎める調子が強くなります。
바쁘다고 해서（一般） / 바쁘기로서니（叱責）

-더라도
仮定の逆接です。기로서니 は実際の事情を認めたうえで咎めます。
바쁘더라도（仮定） / 바쁘기로서니（事実を認めて）

아무리 -아/어도
「いくら～でも」で日常的です。
아무리 바빠도（日常）

■ まちがえやすい点

- ✕ 학생기로서니
○ 학생이기로서니
名詞には (이)기로서니 をつけます。
- ✕ 바쁘기로서니 잘했어요.
○ 바쁘기로서니 그건 아니지요.
後ろには咎める内容を置きます。
- ✕ 부장님, 바쁘시기로서니
○ 目上の人には避ける
咎める調子なので使いません。